

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

795

観光施設管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	3	観光資源の魅力向上

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	観光施設管理事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 観光課 谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	観光施設の維持管理を行い、観光客の受入体制の整備を図る。		観光施設の維持管理を行い、観光客の受入体制の整備を図る。			
事業内容		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		観光施設の維持管理（市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台、わかちか広場等）	観光施設の維持管理（市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台、わかちか広場等）	観光施設の維持管理（市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台等）	観光施設の維持管理（市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台、わかちか広場等）	観光施設の維持管理（市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台、わかちか広場等）

2 事業コスト

事業費等（千円）	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	23,129	21,710	24,000	33,147	24,756	24,937	25,322	0	25,322	0
伸び率（%）	74.6%	72.7%	3.8%	52.7%	3.2%	△24.8%	2.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	8,611	8,999	8,642	8,408	8,722	9,115	7,779	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	8,611	8,999	8,642	8,408	8,722	9,115	7,779	0	0
国庫支出金	0	0	0	7,865	0	0	0	0	0	0
県支出金	126	126	104	103	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	6,090	6,090	6,091	6,627	6,091	0	6,162	0	0	0
一般財源（税等）	16,913	15,494	17,805	18,552	18,665	24,937	19,160	0	25,322	0
所要人数（人）	正規職員	1.11	1.16	1.11	1.08	1.11	1.16	0.99	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	管理委託料10,011千円、駐車場管理運営委託料5,764千円、光熱水費3,475千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
市営片男波海水浴場駐車場利用台数		台	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
			実績値	11,150	13,537	11,588		
			達成度(%)	55.8%	67.6%	57.9%	%	%
市営片男波海水浴場駐車場利用台数		台	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	
			実績値	11,150	13,537	11,588		
			達成度(%)	55.8%	67.6%	57.9%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>現在、管理している施設は、設置から長い年月が経過し、耐用年数を超えているものも多く、年々修繕案件が増えているが、予算上の制約から全てを修繕するのは難しく、優先順位の低いものは修繕が後回しになっている実情がある。</p> <p>観光施設の老朽化は、機能不全に加え、観光地としてのイメージダウンにもつながることから、コストを投入して、受入環境を整える必要がある。</p>
見直し・改善内容	<p>観光客が安心してかつ快適に楽しんでもらえるよう、必要な維持修繕を行うとともに、観光地としてのイメージアップを考え、より環境の整った維持管理を行っていく。また、必要性の低い施設は、閉鎖や縮小を視野に考えていく。</p>